

卓球台を安全に お取り扱いいただくために

日常のメンテナンス

卓球台を正しくお取り扱いいただいている場合でも、経年変化による故障が発生してきます。

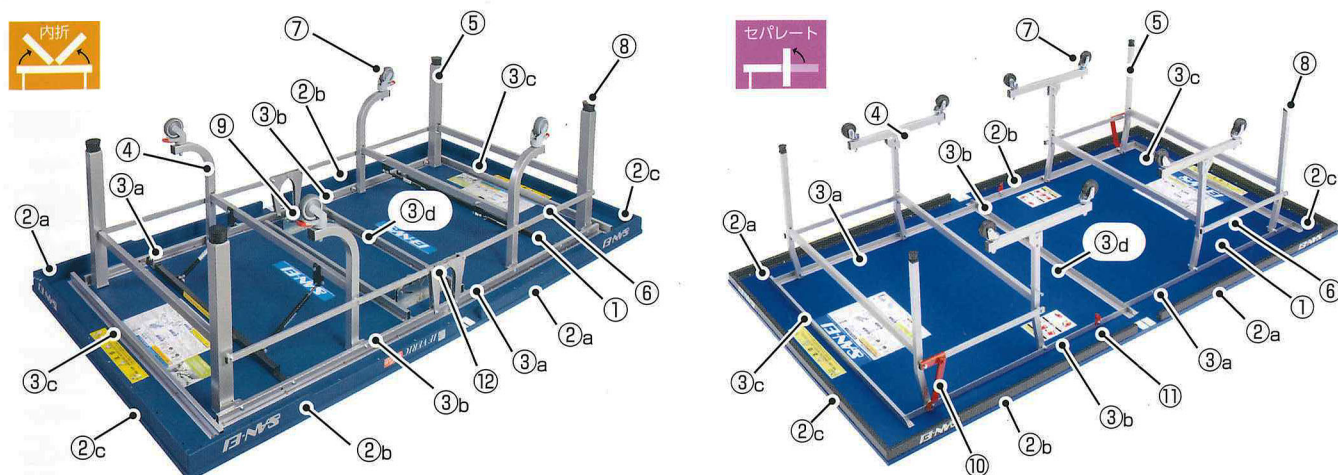
ここでは、当社の代表的な卓球台の裏面構造をご紹介致します。修理・部品交換などの際にご参照ください。

■天板、フレーム材、その他部品の交換などをおこなう場合において、不明な点がある場合は、当社あるいは専門業者様にご相談ください。

■当社製品に、他社あるいは市販の部品等の取り付けはおこなわないでください。また当社より供給する部品を他社製品に取り付けしないでください。

※写真中の符号は点検表の符号と一致します。

※a・b・c・dの符号は、卓球台1台に対し、同名称部材にて、左用・右用・内側用・外側用等の種類があるものを示します。



上記の卓球台は一般的な形状を示しますので製造時期による違いや、現在発売されているものであっても形状・部品等の位置・有無が異なる卓球台があります。異常がみられた場合は直ちに使用を中止して「使用禁止」等の表示をするなど、管理者以外の人がさわったり使用できない様、適切な処置を講じてください。

木ネジのゆるみは増し締めをする、塗装のはがれは塗料で補修するなどちょっとしたメンテナンスで、卓球台の寿命が延びるだけでなく、卓球台の破損による思わぬ事故を回避することにもつながります。詳しいメンテナンスの方法は卓球台に添付されている取扱説明書をご覧ください。

卓球台をご使用になる前に必ず アジャスターを調整してください。

高さの微かな調整は
外脚のアジャスターを調整して微かな高さ調整が出来ます。調節後はロックナットを完全に締めてください。(一部機種にはロックナットの無いものもあります)

スムーズで安全な開閉は
蝶番には定期的に市販のグリスプレーを塗布してください。蝶番の寿命が延び開閉作業がスムーズになります。

キャスターを長持ちさせるために
移動する場所・器具庫等の出入口に段差がある場合など、凹凸面を通過させるとキャスターの寿命が著しく低下します。そのような場合には凹凸をなくす為のスロープや板を渡すなどをしてください。

ベストな状態を保つために
天板は乾いたやわらかい布で拭いてください。また、直射日光の当たらない、湿度の低い場所に保管してください。

注意
移動・設置・収納は必ず同じ体力の大人2名で行なってください。
回転部・連結部・天板の合わせ目に指や手をはさまないように！
ボルト、ナットや木ネジのゆるみ、キャスターや各部に異常がないか確認してから使うこと！

日常(使用前・使用后)の点検箇所と処置方法(例)【定期点検時期】

点検箇所	点検箇所と処置方法	
①天板 ②枠板(木製) [3ヵ月毎]	ひびわれ・かけ・ささくれはないか。 塗装のはがれはないか。	サンドペーパーなどでささくれ等を除去し必要に応じ木工用パテなどで補修した上で塗装をしてください。
②枠板(鉄製) ③フレーム ④内脚 ⑤外脚 ⑥連結棒 ⑦中央部連結板 [6ヵ月毎]	変形・塗装のはがれ・溶接のきれつ・キャップの脱落はないか。	塗装のはがれは、サビを取り除いた上でラッカー系の塗料で補修してください。 キャップの割れ、脱落は、指などに怪我を負う危険性がありますので、新しいものと交換してください。 溶接部のきれつは放置しておくで大変に危険です。修理は販売店にご相談ください。
⑦キャスター ⑧アジャスター [3ヵ月毎]	変形・摩耗・脱落はないか。 移動はスムーズか。	車輪にゴミや糸くずなどが絡まっている場合は取り除いてください。 異常が見られた場合は新しいものと交換してください。
⑨蝶番 [6ヵ月毎]	変形・脱落はないか。 作動状況の確認。	スムーズな動作が得られない場合は市販のスプレーグリスを塗布してください。また正常な場合でも1ヶ月に1回程度の塗布をお勧めします。 (食用油やグリス以外を塗布しないでください。) 蝶番はほこりを嫌います。常にほこりを取り除いて、スムーズな動作をするように、清掃してください。
⑩使用時ストッパー ⑪収納時ストッパー [3ヵ月毎]	変形・摩耗・脱落はないか。	異常が見られた場合は新しいものと交換してください。
ボルト・ナット・木ネジ [6ヵ月毎]	変形・ゆるみ・脱落	木ネジの緩みは、ドライバーで締め付けてください。 ナットが脱落している時は直ちに新しい物を取り付けてください。 ボルト・ナットの定期的な増し締めは販売店にご相談ください。